

3月定例会・議案など	2～3
3月定例会・一般質問	3～7
議案等に対する各議員の賛否状況	6～7
タブレット端末導入	8
委員会等活動報告	8

令和2年12月23日から令和3年3月21日までの出来事を掲載しました。



瑞楽園
(昭和54年5月31日指定)



須藤氏庭園【青松園】
(令和2年3月10日指定)



成田氏庭園
(令和2年3月10日指定)



對馬氏庭園
(令和2年3月10日指定)

上記4点の写真は国の名勝に指定されている大石武学流庭園の写真です。(市教育委員会文化財課提供)
 大石武学流…江戸時代末期から近代にかけて津軽地方に広がった、独特の意匠・構成を持つ作庭の流派。座敷から座って觀賞する形式で作られたものが多い。

議 会 ト ピ ッ ク ス

弘前市議会基本条例の 検証結果を議長に提出

弘前市議会の基本理念となるものとして平成27年3月に制定された弘前市議会基本条例は、その目的が達成されているかを検証し、必要に応じて適切な措置を講じるものとされています。

このことから、弘前市議会では議会運営委員会(委員長・尾崎寿一議員)が、令和元年10月から検証を行い、令和3年2月19日(金)、その結果を議長に提出しました。



清野議長(左から2番目)に検証結果を手渡す尾崎委員長

弘前市議会災害対応指針(案)を議長 に答申、策定へ



清野議長(左)に答申書を手渡す小田桐座長

弘前市議会では、市内で大規模な災害が発生した場合の弘前市議会及び市議会議員の基本的な対応方針を整備することを目的として、災害対応指針検討会(座長・小田桐慶二副議長)を立ち上げ、令和2年9月から検討を行ってきました。

このたび、検討会の成果として「弘前市議会災害対応指針(案)」を取りまとめたことから、令和3年3月10日(水)、議長に答申を行い、これを受け、弘前市議会は弘前市議会災害対応指針を策定しました。今後、大規模な災害が発生した場合は、この指針を踏まえた対応をしていきます。

令和3年第1回定例会

市長提出議案 44件

●事件処分の報告及び承認について（事件処分第1号） 【令和2年度弘前市一般会計補正予算（第17号）】

新型コロナウイルスワクチン接種のために必要な体制を確保するための経費及びワクチン接種に要する経費を計上することとし、この措置に急を要したため処分したものです。【事件処分数月日:令和3年1月15日】

補正額 3億3021万円

●事件処分の報告及び承認について（事件処分第2号） 【令和2年度弘前市一般会計補正予算（第18号）】

新型コロナウイルス感染症への対応として、医療従事者宿泊支援事業費補助金を追加するほか、成人式の延期により発生したレンタル衣装のキャンセル料等に対する助成金を計上するものです。また、今冬の降雪に伴う道路の除排雪経費を追加することとし、これらの措置に急を要したため処分したものです。

【事件処分数月日:令和3年1月20日】

補正額 4億2985万円

●令和2年度弘前市一般会計補正予算（第21号）

新型コロナウイルス感染症への対応として、ワクチン接種のために必要な体制を確保するための経費などを計上するほか、国の第3次補正予算に伴い、道路整備等に係る経費を追加するとともに、事業費の確定に伴う減額、財源調整などの補正をするものです。また、墓地公園整備事業などに係る繰越明許費及び地方債の補正をするものです。

補正額 ▲1億6356万4千円

主な補正内容	事業費(千円)
新型コロナウイルスワクチン接種事業追加	166,800
学校教育活動継続支援事業	44,000

●令和2年度弘前市一般会計補正予算（第22号）

新型コロナウイルス感染症に係る対応として、弘前さくらまつり期間中における市内飲食店の消費喚起に要する経費を計上するほか、当該経費に係る繰越明許費の補正をするものです。

補正額 3740万円

新型コロナウイルス感染症に係る国の交付金は、第3次補正で8億3855万3千円が弘前市に交付限度額として示されており、市の歳入として見込まれております。

人事案件

○弘前市教育委員会の教育長の任命について

よしだけん
吉田健氏(再任)

○弘前市教育委員会の委員の任命について

さいとうゆきこ
齋藤由紀子氏(新任)

【会期：令和3年2月19日(金)～3月18日(木)】

3月補正後の令和2年度予算

一般会計	1016億7193万円
(3月補正額)	12億1793万1千円
特別会計	410億7128万7千円
(3月補正額)	▲8227万9千円

●令和2年度弘前市一般会計補正予算（第19号）

新型コロナウイルス感染症に係る対応として、中小事業者の事業継続に対する支援及び観光需要喚起に要する経費を追加するほか、当該経費に係る繰越明許費の補正をするものです。

補正額 5987万3千円

●令和2年度弘前市一般会計補正予算（第20号）

病院事業会計への補助金追加や生活保護扶助費の追加をするほか、事業費の確定などに伴う追加及び減額、財源調整などの補正をするものです。また、弘前城本丸石垣整備事業などに係る継続費、ひろさき新生児応援給付金などに係る繰越明許費、令和2年度多面的機能支払交付金に係る債務負担行為、病院事業出資金などに係る地方債の補正をするものです。

補正額 5億2416万2千円

●令和3年度弘前市一般会計補正予算（第1号）

新型コロナウイルス感染症への対応として、ワクチン接種に要する経費などを計上するほか、国の第3次補正予算に伴い、道路整備等に係る経費を減額するものです。また、令和3年度小口資金特別保証融資制度利子補給補助金に係る債務負担行為、墓地公園整備事業などに係る地方債の補正をするものです。

補正額 4億56万6千円

主な補正内容	事業費(千円)
保育所等安全対策事業費補助金	31,000
児童厚生施設等環境改善事業	13,900
新型コロナウイルスワクチン接種事業	535,879
地元就職マッチング支援事業追加	4,026
退職者等農業マッチング支援事業費補助金追加	30,000
小口資金特別保証融資制度利子補給補助金	31,606
感染拡大防止滞在費補助金	7,900

●令和3年度弘前市一般会計補正予算（第2号）

弘前さくらまつりにおける新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に要する経費を追加するものです。

補正額 3037万円

○弘前市固定資産評価審査委員会の委員の選任について

こばやしたろう
小林太郎氏(再任)、
さいとうかつゆき
佐藤勝幸氏(再任)、
かわむらとしつぐ
川村俊次氏(再任)

令和3年度当初予算審査

予算決算常任委員会での令和3年度各予算案に対する賛成・反対討論の要旨を以下に掲載します。

一般会計 764億8000万円
 (前年度当初予算との比較 10億円減、1.3%減)
特別会計 407億6041万6千円
 (前年度当初予算との比較 4億2928万2千円増、1.1%増)

一般会計予算案に対する討論

○**賛成の要旨** 以下の理由で賛成する。

- ・感染症対策を最優先に考えた市民目線の予算
- ・要望が多い道路の補修や交通渋滞解消のため交差点改良などに予算を増額
- ・市の将来を見据えた新規・継続事業拡充の予算

○**反対の要旨** 以下の理由で反対する。

- ・新型コロナウイルス対応策が不十分である
- ・圏域単位で行政を行うことに市政の軸足を置く必要はない
- ・任意であるマイナンバーの普及が強調されている

国民健康保険特別会計予算案に対する討論

○**賛成の要旨** 以下の理由で賛成する。

- ・市の医療費適正化対策の効果が現れている
- ・保険料収入の減少が見込まれるが、財政調整基金の活用で安定した財政運営が図られるものと評価

○**反対の要旨** 以下の理由で反対する。

- ・保険料を据え置いた予算編成になっている
- ・コロナ禍の収束が見通せず、市民は厳しい状況にあり、基金を使って国保料を引き下げるべき

議員提出議案 1件

○弘前市議会会議規則の一部を改正する規則案

本会議及び委員会の欠席事由を明確にするとともに、請願の手続における記名押印の見直しを行うため、所要の改正をしようとするものです。

陳情 1件

○国立病院の機能強化を求める陳情書

※陳情書は議員に参考配付しました。

一般質問

質問・答弁の要約を掲載いたします。

※敬称略。()は所属党派。登壇順に記載。文責は質問者にあります。

QRコードの掲載を始めました

議員氏名の横にあるQRコードをスマートフォン等で読み取ると、一般質問の録画映像を簡単に閲覧することができます。

※情報の受信にかかる通信料は、利用者負担となります。



千葉 浩規
 (日本共産党)



医療機関への支援について

問 地元紙社説は、コロナ患者の受入れ等を行った市内の医療機関が「経営難」と報じ、この「経営難を放置すれば地域医療はますます危うくなる」としていた。医療機関のこうした「経営難」の状況について、市はどのように考えているか。

答 各医療機関は受診控え等による患者数の減少等で収益が減少し、厳しい現状の中、使命感を持って新型コロナウイルス

感染症と闘いながら地域医療を担い続けていただいている。今後はワクチン接種の場面でもその役割を担うこととなるため、医療機関の安定的な経営は非常に重要だと認識しており、市では安定的な経営確保に向け、青森県市長会等を通じて、国及び県に経営支援を要望している。

〈その他の質問項目〉

○福祉施設への検査 ○労働者の休業支援金 ○少人数学級の実現



竹内 博之
 (さくら未来)



指定管理制度について

問 制度の導入による効果について。

答 民間事業者のノウハウ活用で利用者満足度が上がり、より多くの方に施設を活用いただいていると考えている。引き続き、効果的・効率的な管理運営や活用方法を検証し、市民サービス向上を図る。

子供の居場所、子供の権利について

問 子供の居場所づくりのために市が開いている施策について。

答 今年度から実施した事業として、民間団体と連携して、市内16か所にフードボックスの設置や、市内の小学生全員に子ども居場所マップの配布などを行った。

令和3年度予算案について

問 地域経済の回復策と財源について。

答 地域内での好循環の構築を最優先に、必要な施策を確実に実行。国の第3次補正予算の成立により市に示された約8億4000万円の配分額を有効に活用したい。



佐藤 哲
(滄 洸 会)



マイナンバー制度について

問 カードの利用制限と活用について。
答 マイナンバーは法令により社会保障、税、災害対策の利用に限られるが、マイナンバーカードは限定がないため、市民サービスの向上に向けカードの普及促進に努める。市では、カードでのオンライン申請を一部実施し、AI・RPA、テレワークも実証研究を行い、デジタルトランスフォーメーションを推進する。

空き家について

問 空き家の現状と対処について。
答 市が調査した空き家は1,412件で、うち245件は破損状態が大きく近隣への影響がある。苦情・相談の件数は令和2年12月末までの7年間で1,060件。空き家は個人の財産であることから、所有者等の責任で管理することとなり、市は、粘り強く適正管理の必要性を周知し、安全な生活環境の確保に努めていく。



鶴ヶ谷 慶市
(木 揚 公 明)



鳥獣被害対策について

問 昨年はクマに襲われる事故が発生しているが、電気柵の設置について伺う。
答 電気柵については、資材購入費が国の交付金の対象となる一方で、設置や撤去、修繕作業等は受益する農業者自らが実施する必要がある。高齢化した個々の農業者だけでは作業の実施が困難な場合が多くなっている。このような課題解決のため、市では電気柵の設置・管理を地

域一体となって実施するための組織づくりを推進しており、坂元及び五代地区においても電気柵の運用に向けた組織化に係る検討が前向きに行われている。令和3年度の電気柵の設置について、坂元・五代地区を含めた計3地区で例年の2倍以上の事業量を見込んでおり、令和3年度予算案では市単独で電気柵設置に係る必要経費を新たに計上し、できる限り多くの事業量に対応することとしている。



蛭名 正樹
(創 和 会)



今冬の除排雪について

問 今年度の道路除排雪の特徴と、持続可能な除排雪体制の構築について。
答 今年度の新たな取組として、国道7号の渋滞緩和と市民の雪処理における利便性向上を図るため、例年1月に開設している樋の口町雪置き場を堀越雪置き場と同じく12月中に開設している。また、除雪オペレーターの高齢化や建設業離れを改善し、持続可能な除排雪体

制を確保するために委託料の最低補償費を改定したほか、業者間の連携による業務の効率化を目指した段階的な除排雪工区の結合を行った。
 〈その他の質問項目〉
 ○コロナ禍における市の諸課題について（財政への影響、新型コロナウイルスワクチン接種体制と実施プラン、休廃業・解散及び倒産による雇用への影響と対策、りんご産業への影響）



今泉 昌一
(さくら未来)



中心商店街活性化対策について

問 具体的な施策を問う。
答 人口減少や少子高齢化の進展などの地域課題、さらには消費者の購買スタイルの変化や新型コロナウイルス感染症による新しい生活様式の推進等に対応した「新しい中心市街地の在り方」を来年度検討する中で、将来にわたって持続可能な中心商店街の構築を図っていきたいと考えている。

保護猫・保護犬対策について

問 保護猫・犬の保護活動の把握を問う。
答 「野良猫」に起因する鳴き声や、住宅周辺への糞尿被害、無秩序な餌やりなどに対する苦情には、県と連携を図りながら対応しているところである。
 市としては、まずは青森県動物愛護センターと連絡を取りながら、本市における保護猫・保護犬の実態を把握していきたい。



石田 久
(日本共産党)



国民健康保険について

問 市民団体から国民健康保険料の引下げを求める要請や署名が市長に提出されているが、基金を使って保険料を引き下げるべきではないか。
答 新型コロナウイルス感染症の影響により大幅な減収となった世帯に対し、国民健康保険料の減免措置を講じており、当市の減免は、353世帯で8000万円を超える規模となっている。

経済的な負担を緩和するため、令和3年度の国民健康保険料については、引き下げるべきと判断した。「引下げ」については、国民健康保険料の医療給付分に係る所得割率と均等割額の二つの引下げを検討しており、現行では、所得割率が10.6%、均等割額は1人当たり2万5400円となっている。
 〈その他の質問項目〉
 ○生活支援 ○生活保護 ○介護保険



福士 文敏
(創和会)



弘前さくらまつりの開催に伴う運営態勢について

問 感染防止対策について伺う。
答 感染防止を最優先に考え、園内での密集対策として、スムーズな入園管理の実施、混雑状況などをSNS等で発信するほか、左側通行の徹底やトイレ、手洗場等の共用部分の消毒を徹底する。園内に飲食できるエリアを数か所設け、そのエリア内のみで飲食可能とし、食べ歩き

はご遠慮いただくことを検討している。
中学校部活動の実態について

問 現在の全体に占める入部者の割合は。
答 市立中学校の部活動の加入状況は、運動部への加入者が全生徒の67%、文化部が32%。令和2年度から、入部を希望する部活動が指定された進学予定校に無い場合、学区外就学を許可している。
 〈その他の質問項目〉
 ○一部事務組合と広域連合の統合



齋藤 豪
(滄洸会)



教育行政について

問 GIGAスクール構想の実現に向けた、現状の取組と今後の方向性を問う。
答 当市では、平成27年度から教員用タブレット端末を導入するなど、ICTを効果的に活用した授業づくりを進めてきた。端末については、令和2年度中に市立小・中学校の全児童生徒に1人1台の端末配備が完了する見込みで、4月の新学期から使用できるよう準備を進めてい

る。また、教員の業務負担が増えないようにするため、令和3年度には、ICT支援員を増員するほか、研修会を実施する予定である。教職員による学校・学級運営に必要な情報などの一元管理・共有を可能とする校務支援システムについては、広域的な導入を視野に研究していく。
 〈その他の質問項目〉
 ○健康とスポーツの取組について
 ○コロナ禍における観光行政について



外崎 勝康
(木揚公明)



雪対策について

問 市民の満足度向上のための新たな雪対策の取組について問う。
答 ICTの活用で作業の効率化を図るほか、地域や関係者との連携を密にした新たな仕組みづくりにより、次世代に向けた雪対策の確立を進める。

答 関係機関等と連携を強化して、事業者がポストコロナ時代を生き抜くための提案や相談対応を行う体制を構築し、環境変化に対応した事業継続を支援する。
新型コロナウイルスワクチンについて
問 市民への情報提供について問う。
答 ワクチンの接種状況、副反応の発生や対応状況等について、市民が正しい知識を持ってワクチン接種を受けられるよう、各種媒体を活用して周知する。

地域経済について

問 コロナ禍におけるピンチをチャンスに変える支援や対策について問う。

国の第3次補正予算にある臨時交付金の活用も含めて対策を実施していく。
新中核病院弘前総合医療センター（仮称）について



木村 隆洋
(創和会)



新型コロナウイルス感染症対策について

問 これまでの経済対策について問う。
答 新型コロナウイルス感染症対策として、令和2年3月以降20回にわたり予算を補正し90事業を実施した。経済対策48事業のうち、特別定額給付金を除いた予算額は30億1022万1000円、執行率は55.56%である。引き続き、市民のいのちと健康を第一に、感染防止に十分配慮しながら、地域経済の迅速な回復のため、

問 現在の整備状況について問う。
答 令和2年5月から新棟建設の本体工事が開始され、令和4年4月1日の開院に向けて順調に進捗している。新中核病院が円滑に運営開始されるよう、今後も関係機関と連携して取り組んでいく。

令和3年第1回定例会も、新型コロナウイルス感染症対策として1人の質問時間を60分から50分に短縮しました。
 一般質問の写真は、過去に撮影した写真を使用しています。

令和3年第1回定例会日程 (28日間)

2月19日(金) 本会議	開会、会期の決定、提案理由の説明	3月10日(水)～3月12日(金)	常任委員会	予算決算
2月20日(土)～3月2日(火)	議案熟考	3月15日(月)	常任委員会	予算決算
3月3日(水)～3月5日(金)		3月16日(火)～3月17日(水)		議事整理
	一般質問	3月18日(木)	本会議	各委員長長の報告、質疑、討論、表決、閉会
3月8日(月) 本会議	一般質問、議案付託			
3月9日(火) 常任委員会	建設、総務、厚生、経済文教			





尾崎 寿一
(創和会)



「弘前公園」の名称について

問 例えば、「弘前城公園」という名称に変更する場合の手續は。
答 通称である「弘前公園」は、市が定めた名称ではないため、変更の手續は特段ない。廃藩からの歴史的背景を踏まえ、名称変更は、市民の機運の高まりと十分な議論が必要である。市としては、市民と一緒に研究するとともに、先人たちの知恵と努力により現在につないだ貴

重な財産を後世に引き継ぐため、関係者と十分協議し前向きに検討していく。

教育行政について

問 市奨学金制度の内容と課題は。
答 貸与月額の一部を入学前に前倒して貸与する「入学一時金制度」を導入しており、他団体ではあまり例がない。貸与月額の引上げと一部返還免除型制度を早ければ令和4年度新規採用者からの実施に向け、制度改正案を検討している。



成田 大介
(無所属)



地域コミュニティ活動について

問 町会の現状と活性化に向けた取組について問う。
答 人口減少や少子高齢化の進行等により、町会活動においては、担い手不足などの課題が顕在化している。市では、これまでも地域コミュニティの維持・活性化に取り組んできたが、令和3年度においては、エリア担当職員を増員するなど、個々の町会への支援を強化する。

幼児ことばの教室について

問 現状と今後の方向性について問う。
答 幼児ことばの教室では、近年、利用者数が急増したことを受けて、職員を増員して対応してきたが、令和3年度も1人増員する予定である。今後も、言葉の発達や人との関わりなどの面で苦手さのある幼児やその保護者が安心して就学できるよう、課題を改善しながら、利用者に寄り添った取組を進めていく。



石山 敬
(創和会)



農業行政について

問 農地流動化について問う。
答 円滑な農地の継承には遊休農地化する前に流動化させることが必要不可欠であり、リタイア希望農家等の営農意向をきめ細かく把握し、これらを農地のマッチング活動に活かしていくことが重要である。引き続き農業委員会と一体となって担い手への農地集積を推進していく。
問 令和3年産米への対応について問う。

答 過去最大規模の主食用米からの転換に対応するため、市農業再生協議会では、国の「水田活用の直接支払交付金」において、飼料用米への助成として10アール当たり5,000円の支援メニューを創設し、農業協同組合や生産者等に活用を呼びかけていく。今後生産者から提出される営農計画書の状況等を把握し、関係機関との連携をより強化し、需要に応じた米の生産及び水田の利活用を進めていく。



坂本 崇
(無所属)



スポーツコミッションについて

問 設立計画について問う。
答 国はスポーツによる持続的なまちづくり・地域活性化を目指し、令和3年度末までに170団体の設置を目標に設立を支援中。弘前市スポーツ推進計画では、スポーツを核とした地域経済の活性化への取組の一つに「地域スポーツコミッション」設立の検討を掲げている。設置の可能性について、弘前市国際スポーツ

プロジェクト実行委員会の総務企画部会が設置したワーキンググループで調査研究しており、同グループからは多様な関係者の方向性の共有、行政の役割と民間の役割の明確化及び市民との一体感の醸成などに留意すべきと総務企画部会に報告されている。これらを受け、市も設置の可能性について継続して検討を進める。
 〈その他の質問項目〉○津軽氏ゆかりの5市町による交流 ○広域観光連携

議案等に対する各議員の賛否状況

議案は、○は賛成、●は反対。－は採決に加わらなかったもの。議長（清野一榮）は採決に加わっていません。

議案等名	採決結果	竹内博之	成田大介	坂本崇	齋藤豪	福士文敏	蛭名正樹	石山敬	木村隆洋	千葉浩規	野村太郎	外崎勝康	尾崎寿一	蒔苗博英
令和3年度弘前市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
令和3年度弘前市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
令和3年度弘前市介護保険特別会計予算	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
弘前市介護保険条例の一部を改正する条例案	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○



越 明 男
(日本共産党)



核兵器禁止条約について

問 今年1月に核兵器禁止条約が発効し、核兵器は道義的な非難の対象だけでなく、違法なものとなった。「核なき世界」への道を改めて探る趣旨から、弘前市民を代表する市長に同条約への全面的な賛同の意思表示を求める。

答 日本政府は、核兵器禁止条約が核兵器国の支持を得られていない現状を踏まえ、立場の異なる国々の橋渡しに引き続き

き努めていく考えとしており、同条約への署名・批准をしない立場を取っている。

核兵器禁止条約への署名・批准の賛否は国政の場で議論されるものであるが、市では平和都市宣言を行っており、核兵器のない平和な国際社会の実現という願いは同条約と変わらないものである。

〈その他の質問項目〉○弘前市公共施設個別施設計画(案)について ○弘前圏域8市町村国土強靱化地域計画について



野村 太郎
(創和会)



弘南鉄道維持活性化について

問 弘南鉄道に対する支援について問う。

答 弘前圏域において重要な公共交通である弘南線・大鰐線は、事業者の企業努力や沿線市町村の支援だけで路線を維持していくことは厳しいことから、県に支援を要望したところ、令和3年度の県の当初予算案に補助が盛り込まれた。市では今後も、国や県、関係市町村と一体となり、弘南鉄道の維持活性化に取り組む。

コロナ禍後に向けた子育て施策について

問 新型コロナウイルス感染症による市の子育て施策等への影響は。

答 市では、独自の事業として、妊産婦へのオンラインによる相談体制の整備や新生児の応援給付金等の支援を行ってきた。今後も、必要となる支援を検討するなど、新型コロナウイルス感染症の影響で不安や問題を抱えている子育て世代への相談・支援を重点的に行っていく。



工藤 光志
(木揚公明)



中心市街地活性化計画並びに中央弘前駅前広場整備計画について

問 見解を伺う。

答 中心市街地活性化基本計画について、当市の中心市街地は大変厳しい状況にあり、4つの目標指標のうち3つが達成困難である見通しで、国等の支援を引き続き受けながら計画を進捗させるため、計画期間を1年延長し、令和3年度も官民一体となって中心市街地の活性化を図り

たい。中央弘前駅前広場の整備については、大鰐線の利用者が減少していることから、存続に向けて鉄道利用者の増加による維持・活性化に注力することが先決であり、駅舎を移設しての広場整備は拙速であると考え、拡張前の広さで整備を進めることとした。これにより、完成予定が1年早まり、都市計画道路3・4・6号山道町樋の口町線と同じ令和3年度末の供用開始に向けて鋭意進めていく。



松橋 武史
(滄洸会)



弘前市社会福祉協議会の現状について

問 人員体制や活動上の課題は。

答 職員採用が長年実施されず、職員の年齢構成は40代から50代に大きく偏っている。市では、地域福祉や市民生活において、組織の弱体化による地域福祉の後退を招かないよう、同協議会への運営費補助金の増額を令和3年度予算案に提案して、住民福祉の増進という共通目標のため体制強化と一緒に取り組んでいく。

コロナ対策交付金について

問 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の使われ方と予算額は。

答 臨時交付金、県の補助金、市の財政調整基金を活用した市独自の事業は、74事業、予算総額41億668万6000円で、主な事業は、事業活動持続チャレンジ応援補助金、ひろさき新生児応援給付金。

〈その他の質問項目〉○公共施設の備品等の修理に要する時間について

※賛否が分かれた議案等のみ掲載しております。

松橋 武史	今泉 昌一	小田 桐慶二	鶴ヶ谷 慶市	石岡 千鶴子	石田 久	三上 秋雄	佐藤 哲	越 明男	工藤 光志	清野 一榮	田中 元	宮本 隆志	下山 文雄
○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	-	○	○	○
○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	-	○	○	○
○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	-	○	○	○
○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	-	○	○	○

令和3年第1回定例会審議結果

※議会での慎重審議により、承認、可決、同意となりました。

市長提出議案：44件

予算関係：21件、条例関係：14件、その他：9件

議員提出議案：1件



タブレット端末を議会に導入

2月8日(月)に開催されたペーパーレス会議システム操作研修会の様子

弘前市議会は令和3年第1回定例会からタブレット端末を導入しました。端末にはペーパーレス会議システムを導入し、議案や会議録等をデータ化することで情報共有の迅速化、過去の膨大な資料等の閲覧が可能となり、議会における議論の活性化が図られるほか、資源の削減にもつながります。定例会に先立ち、2月8日(月)にはペーパーレス会議システム操作研修会を開催し、基本的な操作方法等を学びました。

委員会等活動報告

議会運営委員会

- | | |
|--------------------------------|---|
| 1月22日(金) 市役所
①議会基本条例の検証について | 3月18日(木) 市役所
①議会基本条例の検証で
出された項目の取扱い
について |
| 2月12日(金) 市役所
①議会基本条例の検証について | |

議員全員協議会

- 2月8日(月) 市役所
- ①弘南鉄道維持活性化について
 - ②一部事務組合等の予算案について
 - ・令和3年度津軽広域連合一般会計予算案
 - ・令和3年度弘前地区環境整備事務組合会計予算案
 - ・令和3年度弘前地区消防事務組合会計予算案
 - ・令和3年度津軽広域水道企業団津軽事業部水道用水供給事業会計予算案

ひろさき市議会だより 編集特別委員会

- | | |
|---------------------------|--|
| 1月26日(火) 市役所
①掲載内容について | 3月18日(木) 市役所
①掲載内容について
②編集日程について |
|---------------------------|--|

定例会の一般質問等のラジオ放送

F Mアップルウェーブ(周波数78.8メガヘルツ)で、一般質問等の様子を当日午後8時から放送します。※緊急時、災害時には変更される場合も有り

表紙の写真大募集!!

- ◎テーマ 弘前市内で撮影された写真(風景・イベントなど)
 - ◎規格 デジタル写真データ
(JPEG形式、サイズ1MB以上、横撮りのみ)
 - ◎応募資格 弘前市に在住・在勤・在学の方
 - ◎応募方法 写真のタイトル(10文字以内)・撮影場所・撮影日・住所・氏名・電話番号を明記の上、メール、郵送、持参。
※メールの場合は、件名に「だより表紙写真」と入力してください。
 - ◎締め切り 締め切りは令和3年7月9日(金)です。また、応募写真が必ずしも採用されるとは限りません。
- 【詳しくはホームページ、または議会事務局へ】

議会の傍聴 自粛のお願い

新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、当面の間、本会議及び委員会等の傍聴については、できる限りお控えくださるようお願いいたします。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。(議会の傍聴を希望される方を拒むものではありません。)

本会議および予算決算常任委員会は、インターネット中継でご覧になれます。また、市役所 前川新館 1階市民ギャラリーにモニターテレビを設置し、中継放送しております。

次回定例会日程(予定)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| (5月28日(金)) 議会運営委員会 | 会期日程等の協議) |
| 6月4日(金) 開会日(本会議) | 開会、会期の決定、提案理由の説明 |
| 6月29日(火) 閉会日(本会議) | 各委員長の報告、質疑、討論、表決、閉会 |

※日程、傍聴の取扱いについては、議会開会前にホームページ等でご確認ください。

「ひろさき市議会だより」について、ご意見・ご感想などがありましたら、今後の参考にさせていただきますのでTEL・ファクス・メールなどでお気軽にご連絡ください。

弘前市議会ホームページ

<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/gikai/index.html>

インターネットによるライブ中継・録画中継、会議録検索システム、議会の日程など、市議会の情報はこちらでご覧いただけます。

